

令和7年9月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年9月分について、輸出額は「半導体等製造装置」などが減少したものの、「自動車」「金属加工機械」などが増加したことから、対前年同月比6.3%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」「液化天然ガス」などが減少したものの、「衣類及び同附属品」「アルミニウム及び同合金」などが増加したことから、同3.8%の増加となった。

その結果、差引額は7,163億円（同8.8%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降172カ月（14年4カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。

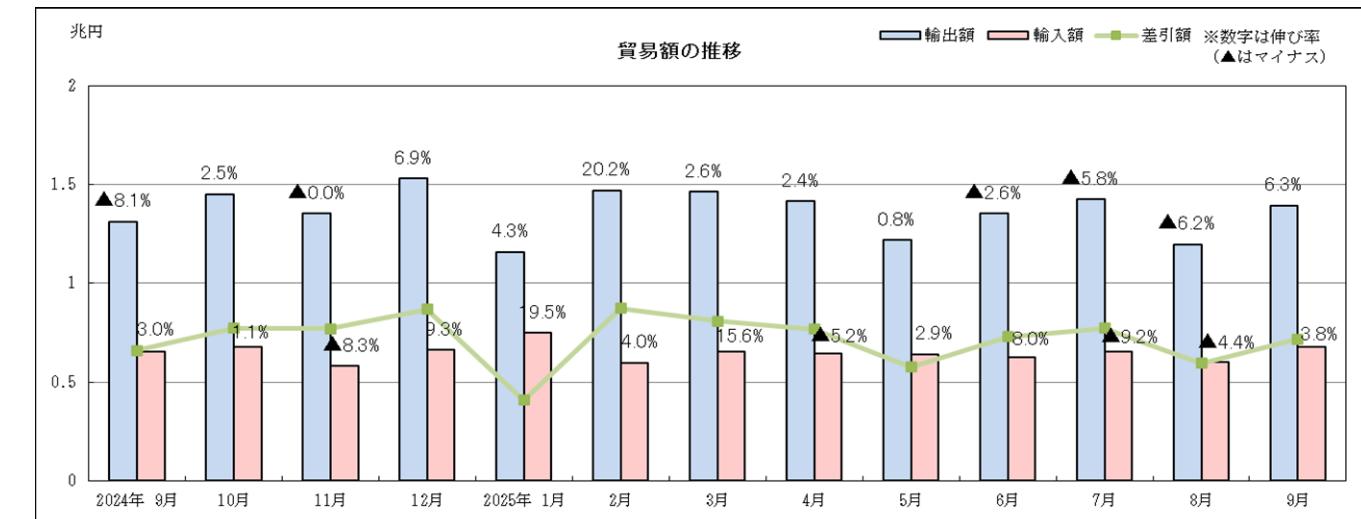
注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆3,930億円	+6.3%	6,766億円	+3.8%	7,163億円	+8.8%
	4カ月ぶりの増加			3カ月ぶりの増加		
	順位 過去12位	9月として2位	順位 過去6位	9月として2位	順位 過去21位	9月として2位
管内（名港シェア）	2兆1,729億円 (64.1%)		1兆2,409億円 (54.5%)		9,319億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆4,137億円 (14.8%)		9兆6,483億円 (7.0%)		▲2,346億円 (—)	

○主な増減品目

		概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	(1)	自動車	4,408億円	+11.4%	+3.5	4カ月ぶりの増加
	(2)	金属加工機械	546億円	+30.5%	+1.0	2カ月ぶりの増加
	減少	半導体等製造装置	292億円	▲31.9%	▲1.0	3カ月連続の減少
輸入	(1)	衣類及び同附属品	483億円	+18.9%	+1.2	4カ月連続の増加
	(2)	アルミニウム及び同合金	344億円	+28.5%	+1.2	3カ月ぶりの増加
	減少	原粗油	428億円	▲31.3%	▲3.0	3カ月連続の減少
	(2)	液化天然ガス	406億円	▲13.4%	▲1.0	6カ月連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。